

## I さんフェアやまぐちに參加しました

10月20日(土)・21日に山口県で行われた「第28回全国産業教育フェア山口大会(さんフェアやまぐち)」に情報科生徒8名が参加しました。全国産業教育フェアは、全国の専門高校(農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉)等の生徒が日ごろの学習成果を総合的に発表する大会です。作品展示や発表のほか、「ロボット競技大会」、「フラワーアレンジメントコンテスト」、「介護技術コンテスト」など様々な競技やコンテストも実施されています。



本校は、「作品展示」に4名、「意見・体験発表」に1名、「SPHポスター発表」に3名が参加、山口の中心部に近い「維新百年記念公園」と、宇部方面にある「きらら博記念公園」の2会場に分かれ、活動内容やその成果を発表しました。



### ○作品展示

実習や課題研究等で制作した作品や研究成果の展示や実演を行う。



今年度から生徒4名で作品展示について考えるプロジェクト「STプロジェクト」を立ち上げ活動しています。活動の目的は「展示を通して多くの人に情報科の活動を知ってもらうこと」です。さんフェアでの展示に向け、パソコン準備室前の常設展示で試行錯誤を繰り返し、グループとしての意識を高めるためのSTプロジェクトのロゴマークの作成を行いました。また、「情報総合実習」で学んだことからアンケートシステムを作成、見学者にタブレットで入力してもらいました。

2日間の展示活動を通し、生徒からは「学校によって展示方法が異なり勉強になった」「次回やるときは、もっとこうしたい。」という声上がり、新しい学びにつながったようです。次は文化祭で展示を行います。



### ○意見・体験発表

日頃の学習で体験したことや学んだことについての意見の発表

「情報デザイン」や「情報コンテンツ実習」で課題作成する際に大事にしたこと、気づいたこと、その経験を踏まえこれから活かしていきたいことについて発表しました。夏休み前から準備を進め、何度も練習をして臨んだ甲斐があり、7分間という短い時間での発表でしたが、たくさんの拍手をいただくことができました。

(デザインすることは) 独りよがりではなく、依頼者や周囲の人の意見に耳を傾けることで新たなアイデアが生まれ、完成度の高いものになります。何かを作り出す上で聞く力が重要であることを学びました。そして、聞くだけで終わらず、その人の想いを反映できるように表現力を身につけ、活用する力が求められると実感しました。

※発表より一部抜粋



会場の様子

り組みとして、課題研究で日本マイクロソフト株式会社と連携して行っている「情報技術の魅力を伝えるイベントの企画・運営」について紹介しました。

ポスター発表は、来場者と直接やりとりしながら質問に答えるため、質問内容をきちんと理解し臨機応変に対応する力が求められました。質問では「新宿山吹高校の情報科ではどんな学びができるのか?」という質問があり、自分たちがどのような学びをして、どのような力が付いているのかを振り返ることの大切さを感じました。



### ○山口情報芸術センター [YCAM] 見学

Yamaguchi Center for Arts and Media



意見・体験発表と SPH 事業発表会が行われた維新百年記念公園の近くに山口情報芸術センター、通称「YCAM (ワイカム)」があります。YCAM はメディア・テクノロジーを用いた、芸術表現、教育、山口の地域課題を解決するコミュニティの3つを柱にした芸術拠点です。

今回は発表練習の後に YCAM を訪れ、見学ツアーに参加しました。ツアーでは YCAM の機能と役割、最新のメディア・テクノロジーや芸術、社会における公共文化施設の役割について知ることができました。YCAM が取り組むメディア・テクノロジーの活用や地域との活動、これらに関わる方たちの熱意は、本校の SPH 事業にも大いに参考になりました。

### ○SPH 事業等発表会 (ポスター発表)

研究指定校の生徒による実践内容や事業を通じて学んだ成果等についての発表とポスター展示



本校が行っている SPH 活動について、A1ポスターを示しながら、①SPH に関する科目や活動を自ら選ぶ→「自ら選択する主体的な学び」、②企業や大学、地域と連携した活動→「社会とつながった学び」、③到達度マップを使った自己評価の取り組み→「学びを自己評価し新たな学びにつなげる」の3つを中心に紹介しました。また、具体的な取

## □さんフェアやまぐち写真集

### \* コロガル公園コモンズ (YCAM)



子どもたちのアイデアで「コロガル」ように成長していく公園。木材で出来た床面に、スピーカーや映像などのメディア・テクノロジーが随所に埋め込まれています。

### \* 食べんさい殿様弁当



専門高校の生徒が献立考えたお弁当が販売されました。ラベルのデザインも生徒の作品です。

■お弁当の献立 山口名物瓦そば、岩国の煮物「大平」、萩産竹輪の磯部揚げ、下関産もずく入り天ぷら、岩国寿司風ちらし寿司、長州鶏の唐揚げ、本多屋の外郎、県産米ひとめぼれ 萩のしそわかめ小松菜の和え物

### \* 「たたら製鉄」復元操業



山口県立宇部工業高等学校による「たたら製鉄」復元操業。作業は一昼夜に及び、機械を使わず、人力での製鉄を行う。

## ★さんフェアやまぐちに参加して…

8名の生徒は、大会のために、夏休み前から何回も集まり、展示や発表の準備を重ねてきました。東京から山口まで長時間の移動でも、新幹線のなかで原稿を修正し、宿舎でも連日改善点を話し合い、発表練習に励みました。大会に向けた取り組みと外部の方へ発表は、これまでの情報科での学びをより深めることができました。また、全国の専門学科で頑張る高校生と触れ合うことは、次の学びへの意欲となったようです。

今回の産業教育フェアでの活動について、文化祭で発表を行います。大会に参加して、見たこと、聞いたこと、感じたことを、新宿山吹の皆さんにも伝えてほしいと思います。



## 2 情報システム実習

情報システム実習では、後期から身近な問題を解決するスマホアプリの開発行っています。

開発を始めるにあたり、10月22日・29日に尚美学園大学より檜村准教授、須藤准教授をお招きして特別授業を行いました。特別授業では「デジタルアーカイブから見るシステム開発」、「システム開発で実際に使えるツール」をテーマとして扱いました。

講演を踏まえ生徒一人ひとりが、解決する問題、システム設計資料と完成までのスケジュール立てを行い、また、その計画をクラスで共有・相互に改善点の検討も実施しました。

現在は、monaca という開発環境で実際にアプリ開発を行っています。年度末にはアプリをお互いに発表し、相互評価する予定です。



「デジタルアーカイブから見るシステム開発」では活版印刷の貴重な資料を見せていただきました。

### ○アプリテーマ

「おこづかいアプリ」  
「冷蔵庫の中身管理アプリ」  
「勉強用アラームアプリ」等



monaca とは  
HTML・CSS・Javascript を使用して iPhone や android に  
対応したアプリを開発する開発環境